

僕たちの第一次マグロ(ギョギョ!)漁業実習③

実習生(横山・服部・高木、三木) 作

神海丸でのご飯は、司厨部員の3人の職員が作り、実習生7人が配膳や片付けをします。



とてもおいしくボリューム満点なご飯を作ってくれるコック長や司厨部員には感謝しかありません。また、コック長は釣りがとても上手で自分で釣った大きい鯛やヒラメを食べさせてくれます。

今日は鰹、鯛、エイも釣れました。

まだ、生食は許可されていないので刺身に火を通すなど調理してから食べています。



見てください、僕も釣りました。
それもアジ用のサビキ仕掛けです。
50~70cmくらいの鯛ならこれで十分♪
大自然の豊かさを感じます。



10月3日の朝6時頃、地元の漁船が帰ってきました。



卒業生も乗船している「一丸」さんです！

「一丸さ～ん！」手を振ると、大きく手を振り返してくれました！
ありがとうございました。嬉しかったです。



めざせ！
海のスペシャリスト！

昨年本科生の時に自分たちで学校の小型練習船「みこしま」を操船し、隠岐島前西ノ島中学校に出前授業に行きました。西ノ島中学のみなさん、ぜひ隠岐水産高校へ！

操練の様子 10月1日(土)



乗組員、実習生全員で操練を行ったときの様子です。

短音 7 回に引き続く長音 1 回の合図で一斉に緊急時の集合場所となっているマスターステーションに集合します。

※短音 7 回に引き続く長音 1 回は、総員退船の非常信号という意味です！

実習生は実際に救命胴衣を着用し非常事態に備えて訓練します。

ちなみに僕たちはこの訓練を行うのは 3 回目です。行動もだいぶ早くなりました。



←写真は、火災が発生した際に海水を放水して消火するための訓練をしている様子です。訓練時は海に放水します。